

令和 8 年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

女性ならではの視点を活かした農園経営で更なる地域振興を目指す

○氏名又は名称 株式会社 フルトリエ（代表 中村 美紗）

○所 在 地 福岡県久留米市

○出 品 財 女性の活躍

○受 賞 理 由

・ 地域の概要

久留米市は福岡県南部に位置し、九州最長の筑後川が流れる。総面積約 230 km²の 4 割が耕地で、大消費地福岡市にも近い。水稻、野菜、花き、果樹等が栽培され、令和 5 年の農業産出額 310 億円は県内 1 位となっている。

・ 受賞者の取組の経過と経営の現況

中村氏は 100 年以上続く梨農家を基盤に、ぶどう・いちご栽培や観光農園、直売所、カフェを組み合わせた多角経営を展開し、栽培面積 335a で長期リレー生産と周年雇用を実現している。令和 4 年に法人化し、従業員 21 名中 15 名が女性であり、外国人材やアルバイトアプリも活用している。

・ 受賞者の特色

（１）誰もが楽しめる観光農園

季節ごとにフルーツ狩りを楽しめる観光農園を整備し、ジョイント V 字栽培や高設栽培、園内のバリアフリー化で誰もが収穫を楽しめる環境を実現した。旅行会社と連携し障がい者やインバウンド客も受け入れる。直売所やカフェでは樹上完熟果実やスイーツを提供し、SNS で発信しており、年間 4 万人以上が来園している。

（２）生き生きと働ける観光農園

スタッフの労働環境改善に積極的に取り組む。子育て世代の女性が多いことから、補助事業を活用し利用料無料の託児スペースを整備した。就業規則や柔軟な休暇制度を導入し、LINE 連絡で就業時間を容易に変更できるなど、働きやすい環境を整えている。部門を越えて協力し合う風土も醸成され、法人化以降の離職者は 1 名に留まる。

（３）地域に留まらない貢献

中村氏は後継者のいない地域の果樹園を引き取るなど、次代を担う経営主となっている。JA 青年部や「アトツギ女子会」で取組を共有し、国や市の審議会委員等も務めるなど地域への貢献度が高い。母校等での講演や独立希望の後継者の受入れを通じ、若手育成にも力を入れ、世代を通じて地域農業を牽引している。

・ 普及性と今後の発展方向

中村氏は「フルトリエ」の栽培面積と事業の拡大を視野に、カフェやバリアフリー化、民泊サービス等で新たな果樹経営モデルを切り拓く。幹部候補採用や人事評価制度導入で人材育成を進め、高温障害や熱中症への対策も強化する。輸出でなく、農園拡大や近隣農家や市との連携により市内での消費を促す着地型観光で、地域経済への波及を目指している。